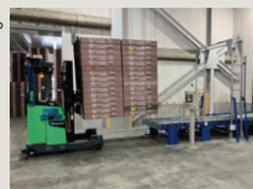


TOPICS

環境に配慮したデポを開設しました！

2024年8月16日に「福岡古賀デポ」を開設しました。JPRデポは、JPRレンタルパレットの貸出し・返却・メンテナンスなどのサービス業務を行う、レンタルパレットサービスの主要拠点です。



福岡古賀デポでは、環境に配慮し、熱源に電気式ヒートポンプ、電動フォークリフトを導入しています。フォークリフトについては、環境面のみならずデポ従業員の労働環境改善や省力化を図るため、無人搬送システムも併せて採用しました。また、有人フォークリフトでは長寿命で環境に優しいリン酸鉄リチウムバッテリーを導入しました。JPRはレンタルパレット事業を通じて、循環型社会構築や持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

Recycle(リサイクル)前に、Repair(リペア)でReuse(リユース)促進中！

繰り返し利用することでCO₂排出量の削減に寄与するレンタルパレットですが、状況や経年劣化で破損してしまうこともあります。

JPRでは破損したレンタルパレットも廃棄せず、再資源化・再生利用をすすめています。

プラスチック製パレットの場合は、破損箇所新しい部材を溶接する補修を行います。補修が難しいほど破損してしまった場合は、プラスチック原料として再利用します。

木製パレットの場合は、破損した部材を取り替えて再生します。損傷が激しい場合でも、品質に問題ない部材のみを補修材として再利用したり、1枚のパレットに再生したりします。



2025

Environmental Report

環境レポート



JPR 日本パレットレンタル株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル URL <https://www.jpr.co.jp> e-mail service@jpr.co.jp

0120-8010-11 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日を除く)

このカタログは再生紙を使用して制作しています。

JPR 日本パレットレンタル株式会社

環境負荷低減から始まる 脱炭素物流の実現への 挑戦

JPRは、企業理念「私たちの住む社会を、もっと豊かにする原動力となる」に基づき、モノの流れの最適化を図るとともに、脱炭素物流・脱炭素社会への貢献に挑戦し続けます。

私たちは、「モノの流れを最適化」することが、環境負荷低減への早道であり、脱炭素物流・脱炭素社会ひいては持続可能な社会につながると考えています。そのために、まずは私たちの事業が排出するCO₂の低減・削減をテーマに活動を実施することといたしました。事業活動において、直接的・間接的に排出されるCO₂の実態を把握し、そしてドラスティックに削減していく改革に取り組みます。

私たちは、当社の事業に関わる全てのステークホルダーとともに、環境に優しい物流の実現へ取り組み、人びとが安心・安全・安定した暮らしを続けられる持続可能な世界を目指します。

目標

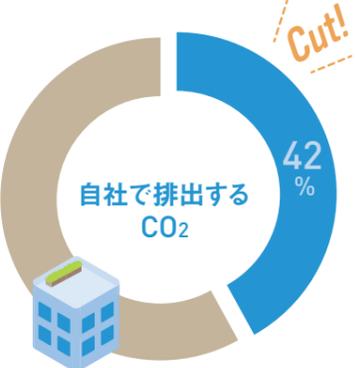
環境目標

私たちは、2030年までに2018年対比で

自社で排出するCO₂を

42%

削減します。



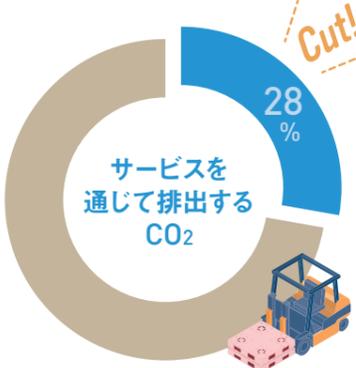
自社で排出するCO₂

Cut!

サービスを通じて排出するCO₂を

28%

削減します。



サービスを通じて排出するCO₂

Cut!

組織体制

JPRは、環境負荷低減の取り組みを、全社を挙げた取り組みとして推進します。そのためサステナビリティ委員会を設置し、計画の推進および進捗管理を行うとともに、各部門がテーマ別活動の計画を立案・実行します。



課題

マテリアリティ

JPRは、環境目標を実現するために、右記の3つの重点課題を定義しました。

循環型物流の推進

地球環境保護への取り組み

物流の脱炭素化への貢献

経過報告

挑戦

\3つのチャレンジ\

	2030年に向けた目標	目標達成に向けた行動	2023年度実績
物流資源のリサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> プラスチックパレット原材料の再生材割合を51%に増やし、エコな商材の充実を図る パレットの廃棄0を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> レンタルパレットの製造に使用される再生材割合を30%から51%に増やす 破損パレットの100%再資源化を行う 	実験中 100% 
サービス提供時の資源の適切な管理と利用	<ul style="list-style-type: none"> 使用電力の再生エネルギー利用率を高める 使用する水資源の循環利用と適切な管理を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電、風力発電などの再生可能エネルギーの発電設備をデポに設置し、電力自給率20%を目指す 洗浄水循環型パレット洗浄機への移行を推進し、全面採用を目指す 	電力自給率約2% 直営デポ14拠点中、4拠点で完了
サービス提供におけるCO ₂ 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮したサービス提供と事業活動を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> レンタルパレットの軽量化を実現する フォークリフトのリチウムバッテリーへの切り替えの促進などにより、燃料使用によるCO₂排出量を30%削減(原単位あたり)する デポでのCO₂排出量を20%(原単位あたり)削減する オフィスでの電力消費量を40%削減する 社用車のハイブリッド、またはエコカーの導入率100%を目指す 輸配送によるCO₂排出量を15%削減する(原単位あたり) 	実証実験中 約11%削減 約4%増加 約53%削減  48%入れ替え完了 約5%削減

達成